



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成31年1月8日 No. 21

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

【2019年、あけましておめでとうございます。
さあ、三学期のスタートだ。気持ち新たに！】

2019年、いよいよ新しい年がスタートしました。

大晦日から正月まで、いい天気にも恵まれて、活気あるお正月だったと思います。ご家庭でのお正月はいかがでしたでしょうか？

さて、昔から「一年の計は元旦にあり！」と言われるように、元旦には「今年こそは、こんなふうな年にしよう！」など、それぞれが心に決めたことと思います。その決意を、飛幡中学生としての自覚と責任の中で、少しでも実行できるよう頑張ってもらいたいと思います。

年の初めということで、心も新たに、希望や目標に燃える時期です。まずは、自分自身に対して、昨年以上に何かを頑張ったといえる年にしてほしいと思います。そのことが、きっと自分をより成長させることができるはずですから。そして、

各学年の締めくくりをきちんとする！

この三学期は、「年のはじめ」であると同時に「学年の終わり」でもあります。特に3年生は、高校受験や就職などの進路決定や卒業を迎えます。1・2年生もそれぞれ次の学年にステップする準備をしなければなりません。各学年とも、学習面はもちろん、基本的な生活習慣をきちんと整えて、胸を張って卒業や進級をしてください。

(生活態度、習慣、学力、体力、知力、マナーなど)



今週、ぜひこれだけは！

(1) 提出物をきちんと出すこと。

冬休みの宿題がまだできていない人もいます。遅くなっても必ず出すこと。

(2) 服装や生活リズムを正すこと。

新学期のスタートです。身だしなみや朝の起床時間を一日も早く戻していくこと。



絵は自在に

子どもが描く絵はいずれも天才の芽えがある。ところが小学生になり、中高年から大人へとなるにつれて、次第に描けなくなってしまう。

うまく描かなければというあせり、恥はかきたくないといった緊張。あるいは、技法を知らないからという言い訳や理屈が邪魔をして、筆が一向に進まなくなるのである。

絵を描くコツは、こうした上手に描こうという捉われから、まず己を解放するところにあるのではないだろうか。他人の眼を気にせず、自分らしさに徹すれば、描く楽しさを思い出し、再びうまく描けるようになるに違いない。

人生も同じで、幼少のころ思い描いた将来は自由自在であったはず。それが年を重ね、学年の階段を上るうちに、過去の成績や他人との比較、社会の価値観に影響を受けて、つい思考が窮屈きゆうくつになっていく。失敗作にならないよう汲々きつととしてしまうのかもしれない。

自分の人生の絵を描けるのは自分だけ。大切なはその絵を自在に描くことではあるまいか。さあ、年の始めにふさわしい今こそ、夢のある絵を描いてみよう。

(PHPより)

【3年生、進路に向かう！】

さあ、いよいよ3年生は受験や就職試験が始まります。二学期の終業式に話したように、進路に向かうことは、自分自身を真正面から正直に見つめることです。今までの自分はどうだったのか、今の自分はどうか、そしてこれからの自分はどうあるべきか。ごまかしはききません。頑張ったら頑張った分だけ、力を抜けばそれなりに、その答えは自分自身に必ず返ってきます。慌てず、焦らず、基本的なことを一つ一つ確実にやり遂げていくこと。3年生だからこそ学習面だけではなく、生活そのものの見直しから大切になります。

合格へのポイントは、まずそこからです。頑張れ、3年生一！

新しい夢

今の小学生に、将来の夢としてなりたい職業を尋ねると、男の子ならプロスポーツ選手やゲームクリエイター、女の子なら保育士、医師、パティシエールといった答えが返ってくるという。時代の違いはあるけれど、子どもたちの夢はいたって明快、語らう姿を想像するだけでも微笑ましい。

ところが夢のとおりかどうかはさておき、大人になって職に就き、幾春秋が過ぎるうちに、いつしか新しい夢を持たなくなってしまう。

いやいや仕事には常に目標があり、目標を達成すればまた次の目標が与えられ、倦むことはない。そう言い切れるならばそれはそれで結構であろう。

とはいえ、目標は一つの目安にすぎない。まして目標達成のために汲々とし、真の仕事の喜びや自分を高める楽しさを見失ってはいけません。

仕事に限らず、いつも夢を持ち続けよう。日常の些事に追われて疲れを覚えても、夢を思い起こせば元気が戻ってくる。人生は夢あればこそ輝くことを忘れないでいたい。

(PHPより)